

## 福井県衛生環境研究センター活動報告 概要

研修会名	平成 28 年度衛生環境研究センター研修会 ①「観測とモデルから PM2.5 越境大気汚染の実像に迫る」 ②「福井県における PM2.5 の地域特性と発生源寄与解析について」
講師	①国立研究開発法人 海洋研究開発機構 博士（理学） 金谷 有剛 氏 ②福井県衛生環境研究センター 研究員 岡 恭子
会場	福井県衛生環境研究センター 大会議室 (福井県福井市原目町 39-4)
参加者	50人
開催日時	平成 29 年 2 月 27 日 (月) 13:30~16:00
研修内容	<p>当センターの職員、県関係機関、県内の各市町環境関係職員等を対象に、大気汚染物質である微小粒子状物質 (PM2.5) について、研修会を実施した。講師に、大気汚染物質の観測とモデルシミュレーションのエキスパートとして多方面で御活躍されている国立研究開発法人 海洋研究開発機構 地球表層物質循環研究分野 分野長代理で博士（理学）の金谷有剛氏をお招きし、観測とモデルから導き出された PM2.5 越境大気汚染の実像に関する最近の知見について詳細に解説していただいた。</p> <p>併せて、当センター職員が福井県において観測された PM2.5 の地域特性と発生源寄与解析について報告した。</p> <p>研修会参加者から、「貴重な講演で参考になった。」、「非常に有意義であった」という意見が聞かれた。</p> <p>研修会終了後のアンケートの結果、「興味深い」という感想がアンケート回答者の過半数を占めた。</p>
	
	
	<p>金谷氏講演</p> <p>岡研究員報告</p>